

# JAAC だより

如何にして大学生生活を過ごすか？ それは自分自身で決定できる

JAAC 日米学術センター  
代表 高瀬 永俊

観測史上、最も暑いと言われた今年の夏、短い秋も足早に過ぎ去ろうとしています。寒い冬は世界的にも言えることですが、厳寒に向かい一言記させていただきます。

アメリカの大学はいよいよ、これからファイナルテスト（期末考査）が始まります。ここに、1987年に新潮社から発行された、城山三郎訳のカナダ人ビジネスマンのキングスレイ・ウォード氏の『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』の第4通目をご紹介します。

『STOPPING THE MOMENTUM』・・・『惰性的な生き方には』

息子は大学2年のミッドタームイグザム（中間試験）で悪い成績をとった。1年目のB+から、がた落ちの成績である。父親はこの下降傾向が逆転することを願って手紙を書く。

君の中間試験の結果が届いた。見るとD、D-、C-と奇妙な文字が並んでいる。私はこの様なものを見たことがなかった。君は1年目の成績が出て以来、私の目をくらませていた自己満足の笑顔は、多少輝きを失ったのではないか。とはいえ、君は前期中にたっぷり笑い、存分に楽しんでいたので、しばらくはやっていけるだろう。私はそう期待している。それとも君は余暇のほとんどを寝て過ごしたのだろうか？

君は上り坂で車を押すことが困難な仕事であるのに気づいているだろう。途中で休めないわけではないが、やり遂げないと大抵の場合、車はもとの坂の下まですべり落ちてしまう。そうなれば、はじめからやり直さなければならない。それが仕事でも学問でも同じである。昨日いくら頑張っても、常にこつこつと続けなければ君は勢いを失う。勢いなくなると、君は仕事を終わらせる道からそれて、過去の努力の食い潰しを始める。君の場合、仕事は大学を卒業することである。

今の君よりも1~2年若かったころの話だが、私は大学1年目のクラスに非常によく出来る学生が何人かいたことを覚えている。私は彼らをどれほど羨んだことだろう。彼らがいとも簡単に良い成績をとっている傍らで、私はようやくB-を取るために猛勉強しなければならなかった。しかし、2年目には事情がすっかり変わっていたのだ。私はこの出来る学生達の何人かは、高校でよく勉強していたおかげで勢いに乗っていることがわかった。それでも2年目の終わりには驚いたことに、クラスの3分の1が脱落していた。落第した者、ただやめた者、容易な学科に移った者もいた。その多くが始めは出来る学生だった。彼らはただ、高校から培ってきた素晴らしい勢いを衰えさせてしまったのである。彼らは1年目を気楽に怠けてしまったために、2年目も同じ様に過ごせると思ったのだ。甘く見たのである。現実気づいた時には遅すぎた者も何人かいた。学問の道に戻るために勉強に専念しなければならないが、彼らにはもはや、自分を厳しく律する力はなかった。言い換えれば下向きの惰性を逆転することができなかったのである。あと数年もすれば、君は人生は上り坂の戦いであることを知るだろう。一つの課題を完了したと思う間もなく、次の課題が迫ってくる。着実に努力を重ねないならば、君の一生における失敗率は高くなるだろう。成功する人とならない人を分けるのはここである。

こういう事態に及んだとはいえ、君が最初の1年を漫然と過ごした形跡はない。しかし、君は人生には時々、川をカヌーで溯るような段階があることを忘れていたらしい。流れに逆らっているときに漕ぐことを止めればたちまち下流に押し流される。人生にも流れがある。櫂を持つ手を休めたくても、大学2年という急流で気をゆるめてはいけぬ。川の上で休息をとる時は、流れを避けて、注意深く場所を選ぶ。勉強の途中で休息をとる時も同じである。年間7ヶ月間、真面目に勉強に励めと言うのは無理な注文だろうか？もしそれが無理で、君がD-で大学を卒業するとしたら、私達の会社に入ったときには、不愉快なショックを受けるだろう。何故ならば、私達は年間11ヶ月半の真面目な努力を要求し、どの部門でもAしか受け入れないからである。もちろん、失業保険法では5ヶ月の休息期間の継続を許しているが、君ほどの

資質をそなえた人が、遊んでいてお金をもらうことを喜び、いつまでも幸福でいられた例はない。

もし君が将来、一流の実業家になりたいと思うのなら、《ミソサザイの翼で鷺のように飛ぶ》ことは不可能であることを忘れないように。君はこれから4ヶ月かけて君の情性をもとの好ましいレベルに戻せばいい。・・・

カヌーの相棒より

追伸 前期の間、休息の時間を一緒に過ごした仲間の多くについて客観的な評価をすることが君のためになるのではないだろうか。この人たちに共通する性格の欠点が明らかになるかも知れない。それが全て伝染病でなければいいのだが。この評価は今学期中に実行することを勧める。この人たちの多くは来年度戻ってくるとは思われなからである。また、やはり今学期中に来年度も戻ってきそうな友達を何人か新しく見つけることが賢明ではないか。長い目で見ればその人たちの方が良い友達になるだろう。

後述 この第4通目は人間味を感じさせる父から息子への認めである。決して怒らず、その事実を客観的に見つめる中で、実業家の父ならではの子供への示唆だと感じる。何事も自分で決めることが出来るのだと言うことを訴えている様にも感じる。ファイナルを目前に控え、様々な誘惑や葛藤に悩まされていることは経験者なら誰でも感じ得ます。この手紙の内容の解釈は人それぞれだとは思いますが、ひとつ言えることは大学生活の中で起こる様々なこと（学業・研究・クラブ活動・自治活動・ボランティア etc）は実社会に出る為のほんの助走距離でしかないと言うことです。

**【編集後記】** ●留学することが夢であり、将来の目標であった人たちも、留学を無事に終えることによってその夢は果され、目標も完遂する。そして、留学はその人にとって過去のものとなり、新たな人生の目標を持ったとき、留学は人生の一過程になる。そうやって人生の年輪を重ねて行くんだなあ▼世間を賑わした日中関係。尖閣諸島において中国漁船が日本の海上保安庁の船に故意に衝突してきた事件は、海上保安官による同漁船衝突ビデオの流出という事態を生み、同保安官は自首したものの、検察は逮捕に至らず、という結論を出して終わった。同保安官の行動は国家公務員としては当然許されるものではないだろう。しかしながら、その行動そのものには多くの国民が支持した。賛否両論ある今回の出来事はさておき、同衝突事件が起きてからの日本の中国に対する外交のあり方は、我々、一般国民にとって“国防とは”、“外交とは”ということについて大いに考える機会を与えてくれた。JAAC 生が留学しているアメリカでは、今回のことについてどのように報道されているのだろうか。そして、JAAC 生の皆さんは、どのように感じ、考えたのだろうか■来年、2011年3月に卒業する新卒予定者は約41万人で、その内の約174,000人に就職内定が出ていないようだ。10月1日現在で、就職活動中の学生の内定率は約58%という発表があった。もちろん、これは過去最低の数字である。就職活動中のJAAC 生の皆さんにおかれては、積極的にジョブ・フェアやキャリア・フォーラムに参加されることを勧めたい▲アメリカではオバマ政権となって2年が経過し、中間選挙が行われた。結果は民主党の大敗。現時点では、議会で優勢を占める民主党であるが、2年後の議会ではいわゆる“ねじれ現象（政権与党が議会の優位を保持していないこと）”が起きることになる。日本でも同じようなことが参議院で起きている。依然続いている世界的な経済低迷からの脱却に日本もアメリカもない。日本の管首相が議長を務めたAPECも終わった。日本は議長国としての責任を果たせたのだろうか。成果はあったのだろうか◆最近、一段と寒さが厳しくなってきた。くれぐれも体調を崩さぬように。（照井）

Let me remind you.....

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

★ジョブ・フェアやキャリア・フォーラムへの参加をお勧めします： 2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブ・フェアやキャリア・フォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めします。インターネット等で各フェアの日程と詳細をお調べください。

※『Tokyo Winter Career Forum 2010』は12月20日（月）・21日（火）に東京ビッグサイトで開催されます。

詳細は、<http://www.careerforum.net/> をご参照ください。

▼冬休みに帰省する皆さんへ： 年末年始の帰省航空券の購入はされましたか？ 格安航空券のご購入はお早めに。また、一時帰国の際に必要な入学許可証（I-20）には学校担当者のサインが必要です。留学生担当事務局などで早めに手続きを済ませましょう。なお、帰国時の必要書類やその他、ご不明な点やご質問等がございましたら JAAC 本部または JAAC カウンセラーにご相談ください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：[t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ©カリフォルニア担当：照井 [k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)